



春満開
10万本のかたくりの花

(大野市矢)



主な内容

3月定例会の概要	2
代表質問	3.4
一般質問	5~9
3月定例会審議結果	10
常任委員会審査	11
各委員長報告	12

おおの 議会だより

No.163 平成21年4月25日

発行：大野市議会
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
TEL0779-66-1111 FAX0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

3月定例会市議会の概要

第三十六回定例会市議会は、三月二日から二十三日までの二十二日間の会期で開催されました。

今定例会では、副議長の辞職に伴う選挙、各常任委員会・議会運営委員会委員の改選などが行われました。また二十一年度一般会計予算をはじめとする四十一議案を審議しました。この中には、各特別会計の二十一年度当初予算案や二十年度の補正予算案も含まれています。そのほかに、議員提出の市会案一件、継続となっていた陳情一件についても審議しました。

条 例

主 議 案

○大野市介護従事者処遇改善臨時特例基金設置条例

(主な内容)

介護従事者の処遇改善を目的とした介護報酬の改定に伴う介護保険料の上昇を抑制するため、国から受け入れる交付金を積み立てるための介護従事者処遇改善臨時特例基金が設置されます。

○大野市立集会所設置条例等の一部を改正する条例

(主な内容)

北部第三土地地区画整理事業の換地処分等に伴う行政区名の変更等に伴い、関連条例の所要の改正がなされます。

○大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

(主な内容)

被保険者が死亡したときに支給される葬祭費の額が三万円から五万円に改められるなどの改正がなされます。

○大野市営住宅条例等の一部を改正する条例

(主な内容)

市営住宅等の入居資格について、暴力団員を排除する規定が加えられる等の改正がなされます。

○大野市介護保険条例の一部を改正する条例

(主な内容)

介護保険法施行令等の改正に伴い、第一号被保険者(六十五歳以上)の介護保険料の改定等が行われるとともに、急激な保険料の上昇を抑制するために、保険料段階が再分化されます。

○大野市まちなか交流センター設置条例

(主な内容)

中心市街地の活性化と産業の振興、市民の心身の発達に寄与するため、市西体育館が「まちなか交流センター」に改められ、その管理等に関する規定が定められます。



地域交流センター

○大野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(主な内容)

市医療職の初任給調整手当が三十万六千九百円から四十一万九百円に引き上げられるなどの改正がなされます。

予 算

▼二十年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、事業費の確定等による通常の補正とともに、定額給付金など国会での関連法案の可決を前提として計上されたものも含まれています。定額給付金関連では、国の示す定額給付金とは別に、市独自で六十五歳以上の高齢者と十八歳以下の子供に対し各千円が給付されることとなります。また商工会議所と協力して、一万円で一万一千円の買物ができるなどお得なプレミアム商品券が発行されます。

○一般会計	補正額	12億9,490万5,000円
	累 計	175億9,361万2,000円
○特別会計	補正額	△7億3,022万円
	累 計	99億2,510万5,000円
○水道事業	補正額	△282万2,000円
会 計	累 計	3億1,696万2,000円
補正後累計の合計		278億3,567万9,000円
		(対前年度同期比△6.3%)

※特別会計は、国民健康保険事業、和泉診療所事業、老人保健、後期高齢者医療、介護保険事業、簡易水道事業、農業集落排水事業、下水道事業の合計額。

審 議 日 程

- 2日 本会議 (会期の決定、副議長の選挙、各常任委員会と議会運営委員会委員の選任、中部縦貫自動車道・国道158号整備促進と議会等改革特別委員会委員の補充、議案上程・提案理由の説明)
- 3日～8日 休 会
- 9日 本会議 (代表・一般質問)
- 10日 本会議 (一般質問)
- 11日 本会議 (一般質問、一部議案討論・採決、各案件委員会付託、広域議員補欠選挙)
- 12日 常任委員会 (産経建設)
- 13日 常任委員会 (産経建設・民生環境)
- 14日～15日 休 会
- 16日 常任委員会 (民生環境・総務文教)
- 17日 常任委員会 (総務文教)
- 18日 特別委員会 (中部縦貫自動車道・国道158号整備促進、議会等改革)
- 19～22日 休 会
- 23日 本会議 (各委員長報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告、追加議案上程・採決、市会案上程・採決)

「人が元気」

- 地震防災マップ作成事業
- 新型インフルエンザ対策事業
- 妊婦健診等の回数拡大
- お出かけほっとサロン事業
- 高額医療合算介護・予防サービス費補助金
- 地域優良賃貸住宅整備促進事業
- 文化会館耐震補強計画委託事業
- わんぱく相撲大野場所開催補助

▼二十一年度の新たな施策
越前おおの元気プランの実現に向け、「人が元気」「産業が元気」「自然が元気」「行財政改革」の四本柱を重点に、各種事業が進められます。各柱の主な新規事業や新たな取り組みを紹介いたします。

各会計の新年度予算額

会計	21年度予算額	対前年度
一般会計	158億 8,800万円	3.7%
特別会計	88億 1,089万7,000円	△14.6%
水道事業会計	3億 193万8,000円	△5.4%
合計	250億 83万5,000円	△3.7%

※特別会計は、国民健康保険事業、和泉診療所事業、老人保健、後期高齢者医療、介護保険事業、簡易水道事業、農業集落排水事業、下水道事業の合計額。

▼二十一年度一般会計当初予算
限られた財源を重点的・効率的に配分し、着実に事業に取り組みながら、経費の節減合理化を図り、行政諸課題に配慮したメリハリのある内容となっています。

「行財政改革」

- 行政改革推進事業（第六次行政改革大綱策定）

「その他」

- 携帯電話エリア整備事業
- JR越美北線子ども旅プラン事業
- 新堀川水門修繕・新堀川調査委託
- 公共交通再編に伴う試行運転経費・見直し経費

「自然が元気」

- 太陽光発電導入促進事業
- 六呂師堆肥センター堆肥保管庫整備事業
- 森林病虫害等防除事業
- 大野市土地改良区設立特別運営補助
- 環境基本計画・地球温暖化対策地域推進計画策定
- 水田湛水影響調査
- 亀山公園遊歩道整備
- カヌー体験市民インストラクターの養成

「産業が元気」

- 越前おおの農林楽舎運営事業補助
- 中心市街地活性化関連事業（廊下式物販所・せせらぎ水路整備、旧大野藩武者溜整備、輝センター活用事業、多目的広場整備等）
- 農村集落カルテ策定事業
- 農地集積実践事業
- 越前大野築城430年記念イベント検討事業
- JR越前大野駅前修景施設整備事業

▼二十一年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、緊急雇用創出事業など、国からの交付金に係る事業について計上されたものです。そのため異例ではありますが、当初予算案に併せて補正予算案が同一議会に上程されました。
補正額は、七千四百五万九千円の増となっています。

市の財政について



代表質問
本田 章 議員
(新国会)

質問 財政状況の現状と健全財政維持についての認識は。

答弁 平成十九年度決算の財政健全化法に定める各指標については、そのすべてにおいて基準値を大きく下回っており、現時点では、財政は健全であると認識している。サービス水準を低下することなく健全な財政運営を維持するため、一層の行財政改革を行い、堅実かつ効率的な行政運営に努める。

雇用の実態と雇用創出について

質問 雇用の実態と雇用創出・企業誘致の現状は。

答弁 ハローワーク大野管内の有効求人倍率は、全国・県を大きく下回っており、雇用情勢は非常に厳しい。国の「地域雇用創造推進事業」により新たな雇用を生み出すため、事業構想提案書を策定し、国に認定申請した。企業誘致については厳しい経済情勢の中、昨年末から企業からの問い合わせや関係機関からの照会はほとんどない。

第六次行政改革大綱について

質問 二十二年度にスタートする第六次行政改革大綱には、指定管理者制度も定着しつつある現在、三セクの整理統合も視野に取り組みべきでは。

答弁 公共施設の適正配置について、利用状況や設置目的など現状分析し、指定管理者制度の在り方や三セクの整理統合も視野に入れ、費用対効果や公平性などに留意し進める。

福井社会保険病院について

質問 福井社会保険病院の譲渡先決定までは国の責任による診療継続を強く求めていくべきでは。

答弁 県市長会、県市議会議長会を通じて国に対し存続に向けた要望書を提出した。県の第五次保健医療計画において奥越の中核病院として位置付けられており、県の責任において国に対し存続に向けて働き掛けをお願いする。

西部アクセス道路の安全対策について

質問 西部アクセス道路の歩行者安全確保の取り組みは。

答弁 県は、国道一五八号交差点までの現国道四七六号の安全対策と部分改良に向けて測量・設計業務を発注、二十一年度に可能な部分から着手することである。今後も歩行者等の十分な安全対策を関係機関に求めていく。



代表質問
宮澤 秀樹 議員
(清新会)

人口減少の歯止め策について

質問 I・U・Jターンいろいろあるが、現状と取り組みは。

答弁 越前おおの暮らし応援事業を実施しており、ホームページには月に百件以上のアクセスがあるほか、市外から四世帯の定住が図られた。さらに越前おおの元氣プランに掲げる各種施策を推進することが人口の歯止め策と考える。

公営住宅について

質問 本市に存在する雇用促進住宅は、平成三十三年までに廃止の方向だが、市の考えは。

答弁 昨年九月に譲渡に関する説明を受け、市内の賃貸住宅の現状、市営住宅としての活用方法や費用対効果などを分析し、譲渡を受ける方



雇用促進住宅「サンヨーポラス」

向で検討している。

ごみ袋の有料化について

質問 ごみ袋の有料化は検討しているのか。

答弁 第五次大野市行政改革重点事項推進計画に基づいた取り組みとし、有料化の前段として推奨ごみ袋の指定を行った。今後、勝山市との協議の中で検討する。

農産物拡大について

質問 今後、特産物の里芋、ナスなどの生産拡大をどのように図るのか。

答弁 市独自で農村集落カルテ策定事業を実施し、実態や課題を把握し、検討材料にする。その中で、生産を希望する集落営農組織などに対しては、助成・支援を県やJAと連携しながら行っていきたい。

観光について

質問 観光客誘導看板やドライバーが一息入れられるような箇所でのトイレの設置はどのように考えているのか。

答弁 二十年度は、歩行者用の案内看板を市街地に十九基整備した。車両用は、二十二年度に整備を考えている。トイレについては、新たに整備するのではなく、案内看板やパンフレットを活用し、既存施設に誘導することにより利用者の便宜を図りたい。



代表質問
島口 敏榮 議員
(創造みらい)

奥越養護学校誘致について

質問 具体化せず現在に至っているのはなぜか。「勝山市で早期開校」の記事とは。

答弁 建設全体の課題があるため進展していない。記事の件は、今後協議があるものと思う。

中部縦貫自動車道・国道一五八号について

質問 「大野油坂道路」の早期事業化、国道一五八号の今後の整備は。

答弁 大野油坂道路は、三月末の結果を期待。インター整備計画は検討。国道一五八号の早期整備を働き掛ける。

越前おおの農林業施設について

質問 小規模農家の下支え、農村集落カルテ策定事業、JAとの競合事業、運営体制について聞きたい。

答弁 小規模農家の下支え役とするため特産振興や販路の拡大。カルテ策定により施策の策定に役立つ。JA等関係機関と連携・協力する。運営は市職員との派遣と交付金事業等を活用。

保健・医療・福祉の拠点施設整備について

質問 施設の整備、地域医療の在り方は。

答弁 市民の利便性を確保するよう検討。在宅・予防医療を中心とした地域医療が課題。

福井社会保険病院について

質問 現状と今後について。

答弁 具体的方向性が見えていない。県主導による国への存続運動を求める。

地下水保全対策について

質問 湧水再生の成果が得られない状況では。

答弁 水田湛水事業を実施。ワーキンググループで研究し、具体的な対策を立案したい。

森林環境税の創設について

質問 森林と山村地域を守るには必要では。

答弁 森林整備保全へ提言活動を行っている。税導入を国・県へ要望する。

市庁内のトップを巡るネットワーク体制について

質問 市長不在を預かる内部の体制は。

答弁 部長長等連絡調整会議を立ち上げ強化した。



一般質問
畑中 章男 議員
(新国会)

人口減少対策について

質問 市内高校卒業生数・進路内訳を五年間にわたり示されたい。

答弁 毎年三百五十人から四百人が卒業しており、約八割が進学、二割が就職し、約九割が進学や就職で転出している。

企業誘致活動について

質問 市の企業誘致活動での訪問先数・訪問地等と、その経過・成果は。

答弁 東京や大阪へ十数社・延べ二十回以上、大手企業や不動産会社等を訪問し、情報収集、本市のPR、企業誘致のお願いをした。具体的な成果は上がっていない。

土地販売価格を下げる策について

質問 定住人口を増やす方法の一つとして、市内の土地販売価格を下げる策は。

答弁 土地を安価に分譲することは、民間業者への影響、土地の実勢価格への影響など問題が多岐にわたり、現段階では考えていない。

ワークシェアの基盤整備について

質問 大野市役所における夫婦での職員数を示し、給与削減やワークシェアの基盤を整備すべきでは。

答弁 夫婦での職員数は三十二組六十四人。給与削減は職員間の公平性を欠き、また条例に反することとなり適切ではない。

行政区の統廃合について

質問 世帯数に格差が開いているので統廃合すべきでは。

答弁 一般的には行政から統廃合を推進するという考えはない。相談があれば対応する。

市街地の農村区について

質問 市街地に取り残された農村区をどう考えているか。

答弁 行政として直接関与することは考えていないが、地域間で話し合い気運が高まれば、区長会等を通して対応していく。

困難を極める区長選任について

質問 区長選任が困難を極めている理由・原因は何か。また区長報酬アップや仕事量の省力化は。

答弁 区長会を通じて対策等の情報交換をしていく。報酬は県内では低くないので理解を得たい。省力化については一層努力していく。

農林楽舎について

質問 将来の大野市の農林業振興に、農林楽舎の果たす役割は。体系的・戦略的に示すべき。

答弁 平成二十一年四月に一般財団法人として設立。運営は、一年目は活動を起こし基礎固めをする「ホップ」、二年目は新たな事業を生み出す起から展への移行で「ステップ」。三年目はさらなる事業拡大「ジャンプ」のような展開方針のもと、各年度における数値目標や農林楽舎の独自性を出せるような具体的な事業目標を定めながら取り組んでいくように指導する。

将来的には、農林業者の下支え役の大きな歯車となり、農林業の就業意欲や所得の向上につながっていくよう事業展開をしていく。

豊かな食育の推進について

質問 二十一年四月施行となる学校給食の目的が「栄養改善」から「食育」に大きくかじを切ることとなった。二十一年度県が打ち出す、子供たちと農



一般質問
松田 信子 議員
(新国会)

家の「学校給食畑」に取り組み、幼少期からの食教育の一助にすべきと思うが、市の考え方は。

答弁 この事業は、学校近隣の農家の畑を借り上げ、子供たちと農家が手を携えて農産物を栽培し、収穫したものを学校給食に活用する内容。大野市は現在、十二校すべての小学校でこれに類する取り組みは実施しているが、今後、県の新規事業内容が具体的に示されたら、市としてこの事業に参加できないか、学校と協議していく。

教育行政について

質問 教育理念と市民憲章の整合性は。

答弁 市民憲章（昭和五十三年制定）はまちづくりの指針、教育理念（平成二十一年制定）は人づくりの指針。教育理念の市民への周知・啓発は、教育関係施設でのプレートによる掲示、市報・市ホームページへの掲載。学校現場、公民館で積極的に啓発活動をしていく。





一般質問
沢田 国夫 議員
(創造みらい)

地下水の保存について

質問 教育基本理念に基づき、将来の子供たちに清らかな地下水を永遠に残すための施策は。

答弁 積極的に研究調査を行い、特にハード面においては国・県に強く働き掛け、地下水保全の事業展開を行う。また地下水を大野ブランドの一つに位置付け、慣行水利権を強く主張していきたい。大野市民共通の宝である地下水を守ることは重大な責務であると実感している。

子供たちに残ってもらうための取るべき施策について

質問 将来、今の子供たちが大野に残るための企業誘致を含む市の取るべき施策は。

答弁 中部縦貫自動車道、国道一五八号の整備に伴い企業誘致を活発化し、大野ブランドの創出を積極的に推進していきたい。また農林業舎を立ち上げ特色ある農業経営を推進し、職域の拡大に努めていきたい。

下庄小学校の建設について

質問 下庄小学校建設に関する安全性の基本的考えは。

答弁 現在の下庄小学校は、市内でも古く危険度が増しているため、早期に改築を目指すもので国土交通省の指導のもと安全基準をクリアしている。(建築に関する耐震性能における分類はⅢ類で、重要度係数は一・〇としている)

市内循環バスについて

質問 市内循環バスの試験運行において利便性を高めるための方策は。

答弁 本年十月から二年半にわたり試験運行をするものであり、ルートに関しては、公共・公益施設や高齢者の買い物、通院利用に便利のように配慮した。また高校生の通学利用を進めるため、市内二つの高校付近も通るように配慮している。今後、パンフレット、ホームページ等を

通じて広く周知徹底を図っていく。

ちなみに、まちなか運行は、四十五分間隔で午前七時から午後八時までとし、料金は百円である。



行政改革の推進について

質問 第五次行政改革までの検証結果を踏まえて、第六次大綱はどのように策定していくのか。

答弁 第五次の進捗状況は七四割になる。本年は、大野市行政改革戦略会議からの提言を参考に、第六次行政改革大綱を作成する。

市の財政状況について

質問 当市の財政は本当に健全か。

答弁 今後の財政見直しは、一般会計のみならず高齢化の進展や公共下水道の運営による特別会計への繰出金、一部事務組合に対する負担金など増加傾向を考慮した推計が必要である。しかし、この見直しは地方交付税が現行水準を維持しなければなどの不透明な要素がある。

人口減少と対策について

質問 人口減少が止まらない現状をどう考えるのか。またその施策は。

答弁 企業誘致や元気な企業の育成に



一般質問
高岡 和行 議員
(清新会)

商工業の育成施策について

よる若者の働く場の創出、中心市街地活性化による魅力あるまちづくり、越前おおの型農業の確立が重要であり、全庁挙げて取り組んでいる。

質問 商工業の育成施策は。

答弁 まず経営者の意識改革を行い、地域資源や地域特性等を生かした新たな商品開発を促進する。空き店舗への商店の誘致、観光客を対象とした接客能力の向上を図る。各商店街間の連携事業の支援強化、輝センターや七間朝市との連携事業の支援を行いたい。

市民の健康について

質問 市民の健康への取り組みは。

答弁 大野市高齢者福祉計画では「まると若返り講座」を展開している。「健康おおの21」を作成し、いくつかの健康づくりに取り組んでいる。メタボリック症候群に焦点をあて「脱メタボ講座」を開催している。

公共下水道事業について

質問 公共下水道事業の現状と今後は。

答弁 計画どおり進んでいるが、今後の経費の見込みで最終的の地方債の償還金については、約二百五十三億円にも少なくなり、今後の下水道の運営に支障を来すので努力をしていく。



一般質問
榮 正夫 議員
 (日本共産党)

金融危機下の地域経済について

質問 大野市の地域経済を深刻にしている雇用問題について、現状を把握しているか。特に非正規雇用や障害者の現状はどうか。

答弁 市内の事業所の生産調整は深刻で、今年一月の奥越地域の有効求人倍率が〇・四六倍と、前月より〇・四五ポイントも急激に低下している。また派遣労働者については、コンデンサ製造関係の会社が市内で三社ある。派遣社員の受け入れをしていない一社を除き、他の二社のうち一社は、百二十五名の派遣社員が現在ゼロ、もう一社は、百名の派遣社員が現在五名になったとのことである。その他の会社の中には、雇用調整をしない会社、賃金の減少はするが労働時間の配分を変えて雇用の確保を図る会社もある。障害者の作業所では、トヨタ関係の仕事の



受注が多かったが、現在はその影響をもろに受け大変な事態となっている。

障害者自立支援法について

質問 障害者自立支援法の最大の問題は、障害者そのものを自己責任ととらえ、当たり前の生活を送ることを利益であるとし、応益負担を導入したことになると思うが。

答弁 「障害者自立支援法の抜本的見直しに関する基本指針」では、現在の原則一割利用者負担とする応益負担から、障害者の支払い能力に応じた応益負担に見直し、法改正に向けた準備がされていると聞き及んでいる。

公的保育制度について

質問 厚生労働省は、市区町村の保育実施義務をなくし、現在の公的保育制度に代わる「新たな保育の仕組み」を提案したと聞くが。

答弁 国は、社会保障審議会少子化対策部会において、今後の保育制度の姿として「新たな保育の仕組み」を第一次報告としてまとめたが、決定したものはなく、今後の議論に期待し、市の責任において保育を実施した。



行政改革について

質問 行政サービスをより充実させることが行政改革になるのでは。

答弁 大野市では、今までの行政に欠けていた感覚や手法を取り入れるため、昨年、大野市行政改革戦略会議を設置して、この三月六日には「大野市の行政改革に関する提言書」をいただいたところである。提言書では、行政改革すべき課題を明確にし、職員一人一人が目的意識を持って推進することや、行政の「やるべきこと」「できること」を整理することを求められている。

行政改革は「市民のため」に行うものであることを、全職員の共通の認識として取り組んでいく。

本市から見た経済圏の考え方について

質問 経済圏の対象になるのは、中京・近畿地方ではないか。

答弁 大野市としても、より身近な中京・近畿方面でのPR活動や誘客活動は、人の流れや物流の観点から時間的



一般質問
松原 啓治 議員
 (清新会)

・距離的に有利であり、大変重要であると認識している。このことから、本年度においては、新たに中京方面をターゲットに中日新聞折込のフリーペーパーを活用したプレゼント事業や、近畿方面をターゲットとした産経新聞や私鉄関連のフリーペーパー、FM放送を活用したプレゼント事業を実施した。また名古屋、大阪等で開催される観光商談会にも積極的に参加し、観光誘客を図ってきた。

また中部縦貫自動車道が完成すれば、北陸圏と中京圏が最短ルートで結ばれ、大野市街から名古屋市外まで約三十分短縮され、地域間の交流が活発化し、大野市経済・産業の発展にも大きくつながるものと考えられる。



名古屋での観光商談会



一般質問
石塚 淳子 議員
(創造みらい)

地上デジタル放送について

質問 低所得者や高齢者等への受信機購入等に係る支援、高齢者だけの世帯等特別にサポートが必要な世帯に対してのサポート、アナログテレビの不法投棄対策について聞きたい。

答弁 低所得者に対する受信機購入等に係る支援は、国において必要最小限の機能をもつ安価なチューナーの開発を各メーカーに働き掛けている。また視聴者の自己負担であることを原則としつつ、生活保護受給世帯に対しては受信機購入に係る何らかの支援を行うとしているので、国の動向を見極めながら対応する。

特別にサポートが必要な世帯に対しては、仮称「地デジアドバイザー」を養成し、必要に応じて個別訪問等により行う。
不法投棄については、家電リサイ



クル法の対象品目の河川等への不法投棄が後を絶たない状況であり、過去に発生した場所を中心に、毎月、奥越健康福祉センターと合同パトロールを行うとともに、不法投棄防止啓発看板の設置を行う。

花粉症対策について

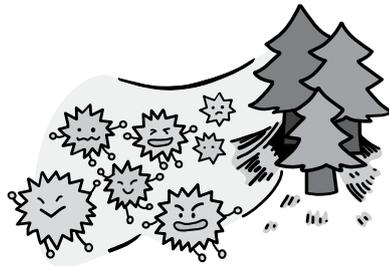
質問 大野市の杉林の現状と少花粉杉や広葉樹等の植林について聞きたい。

答弁 大野市の森林総面積は、全体の約八七割で、そのうち杉林は二一・六割を占める。
花粉の発生量が多い二十五年生以上の杉は七五割を占め、多くの杉が花粉を発生している。

県において、本県固有の花粉症対策

品種の開発に取り組んでいるので、新品種が開発され、品質が確認された場合には、少花粉杉の植栽を検討する。

広葉樹等の植林については、市街地近郊の山際に、林業経営や植生を考慮しながら、針葉樹とナラなどの広葉樹を混ぜて植栽する混交林や広葉樹の植栽も誘導し、花粉の少ない森林づくりを努める。



第四期介護保険事業計画について

質問 国の方針で、介護給付費準備基金は、基本的には、取り崩して第四期計画に繰り入れることとしているが、なぜ全額取り崩して介護保険料を値下げしなかったのか。

答弁 平成二十三年末に介護療養型施設が廃止されることや、要介護認定者の増加に伴いサービス費用の増加が見込まれる。そのため、第五期の保険料改定率が過大にならないよう、今回は基金の取り崩しを四七割にとどめた。

市の雇用対策について

質問 ニチコン株式会社は、二百五十人いた派遣社員の契約を解除したが、多額の工業立地助成金を出している市としてどう考え、どんな要請をしているか。

答弁 ニチコン株式会社に対しては、山本副市長、佐々木産業経済部長が雇用の確保を要請してきた。派遣労働者の契約解除については、苦渋の決断を迫られたのだと考えている。



一般質問
浦井 智治 議員
(日本共産党)

地域雇用創造推進事業について

質問 「地域雇用創造推進事業」の雇用創出効果はどうか。

答弁 農林業・商工業・観光関連産業・介護福祉産業において雇用創出に積極的に取り組む、三年間で百四十五名の新規雇用創出を目標としている。

「めいりん」の床破損について

質問 公民館ホールの床材が長さ二、三メートル、幅三、四十センチにわたり破損したが、原因と改修の経過を聞きたい。

答弁 何らかの原因により床材の木が湿気を含んだため膨張し、その力で盛り上がったと思われる。張り替えに要した経費は施行業者が負担した。



学びの里「めいりん」



一般質問
藤堂 勝義 議員
(公明党)

定額給付金の給付について

質問 定額給付金の給付に向けての取り組みは。

答弁 定額給付金給付等事業本部を立ち上げ、市長を本部長として構成する事務局を構築し、全庁的な体制で準備を進めている。

特に大野市の単独事業として、高齢者支援事業・子ども生活支援事業を実施し、定額給付金の給付額が二万円となる六十五歳以上の方と十八歳未満の方にそれぞれ千円を上乗せして給付する。

消費拡大ダブルプレミアム事業について

質問 越前おおの消費拡大ダブルプレミアム事業の取り組みは。

答弁 商品券の名称を「越前おおのプレミアム商品券」とし、額面千円のもの十一枚セットにして一万円で販売。発行枚数は二十二万枚、セット数にすると二万セット、販売総額二億円。消費効果は二億二千万円。また商品券は

一世帯当たり三セットを限度として購入でき、その購入券は、定額給付金の申請書とともに一世帯当たり三枚同封して送付する。

商品券の販売は、四月一日から商工会議所、市役所本庁、和泉支所、各公民館等で行い、販売期間・使用有効期間とも本年八月三十一日まで。商品券の使用取扱店は、市内全域を対象に、商工会議所会員以外の店舗も含め五百店舗以上を目指している。

消費拡大のPRについて

質問 市内における消費拡大のPRの取り組みは。

答弁 市内事業所や商店街では粗品やサービス券を進呈、さらに商店街のテナント市でプレミアムのついた買い物券と交換。また六月七日、全国植樹祭大野会場での記念イベント開催に合わせ、消費拡大・地産地消を目的としたテナント市の開催も検討している。

障害者雇用確保の現状と取り組みについて

質問 障害者雇用を図るための対策は。

答弁 障害者など就職困難者を継続して雇用した事業主に、特定就職困難者雇用開発助成金を交付する対策を実施。平成十九年度交付件数は二十一件。雇用促進奨励金は、同年度四名が該当。

陳情

▼「下山区土地未登記問題に関する陳情書」(継続分)

提出日 平成二十年四月九日
提出者 下山区長 嶋光義 外一名
審議結果 不採択

人事案件

▼人権擁護委員候補者に神田氏ら三名の推薦に同意

人権擁護委員候補者に神田泰淳氏(今井)、萩原勢子氏(泉町)、表秀信氏(朝日)の三名(いずれも再任)を推薦することに同意しました。

▼固定資産評価審査委員会委員に喜多山氏の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員に喜多山浩之氏(牛ヶ原・再任)を選任することに同意しました。

意見書

▼「地域産業の活性化に関する意見書」
定例会最終日に、議員から「地域産業の活性化に関する意見書」が市会案として提出され、可決されました。

この意見書は、県が平成二十年度に限定して実施している「公共工事の低入札への対策」「地域の防災力維持の面における貢献度を配慮した指名競争入

札の弾力的な活用」を、経済基盤の弱い奥越地区の建設業等を保護するため、今後も当面継続して実施すること、また併せて地産地消を原則として、公共工事発注の地域要件とすることを県に求めるものです。

トピックス

シリーズ 議会改革の取り組み①

▼議会等改革特別委員会の設置

大野市議会では、平成二十年三月に議会・行政に課せられた役割を最大限に発揮し、地方分権時代にふさわしい自主的で効率的、そして具体的な運営方法等の構築を目的として調査・研究を行う「議会等改革特別委員会」(委員定数八人)を設置しました。本委員会では、本会議の充実、委員会の在り方、議会広報の拡充等の議会運営に関すること、また市の行政改革について、現在の課題や今後の方向性を中心に論議を進めています。

臨時市議会を開催

第三六一回臨時市議会が四月八日に開会され、議案第四十三号「教育委員会委員の任命について」を全会一致で同意しました。

これにより、中森繁夫前教育委員の後任として、新しく松田公二氏(中挟三丁目)が教育委員に就任されます。

平成21年3月第360回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

(○：賛成、×：反対、－：欠席、除斥等による不参加。議長(砂子三郎氏)は表決に加わらないので「/」で表示)

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決	前田	谷口	石塚	沢田	藤堂	川端	宮澤	松原	山本	島口	高岡	松田	浦井	本田	常見	松井	畑中	砂子	榮	
				政美	治衛	淳子	国夫	勝義	義秀	啓治	鐵夫	敏榮	和行	信子	智治	章	悦郎	治男	章男	三郎	正夫		
市長提案	2	平成21年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	/	×	
	3	平成21年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	4	平成21年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	5	平成21年度大野市老人保健特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	6	平成21年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	7	平成21年度大野市介護保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	8	平成21年度大野市簡易水道事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	9	平成21年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	10	平成21年度大野市下水道事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	11	平成21年度大野市水道事業会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	12	平成21年度大野市一般会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	13	平成20年度大野市一般会計補正予算(第5号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	14	平成20年度大野市一般会計補正予算(第6号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	15	平成20年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	16	平成20年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	17	平成20年度大野市老人保健特別会計補正予算(第2号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	18	平成20年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	19	平成20年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	20	平成20年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	21	平成20年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	22	平成20年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	23	平成20年度大野市水道事業会計補正予算(第2号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	24	大野市介護従事者処遇改善臨時特例基金設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	25	大野市まちなか交流センター設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	26	大野市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	27	大野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	28	大野市立集会所設置条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	29	大野市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	30	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	31	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	/	×
	32	大野市交通指導員設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	33	大野市企業立地促進条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	34	大野市営住宅条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	35	大野市簡易水道等給水条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	36	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度大野市一般会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	37	専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償額の決定)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	38	大野市防災行政無線設備整備工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	39	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	40	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	41	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	42	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	市会案	1	地域産業の活性化に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
陳情	継1	下山地区の土地未登記問題に関する陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	

※ 陳情番号に「継」と標記されているのは、前回定例会から継続審査となっていたためです。

常任委員会審査

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。



産経建設常任委員会

Q 大野市営住宅条例等の一部を改正する条例案が上程されており、市営住宅等の入居資格について、暴力団員を排除する規定が加えられているが、暴力団の特定はどのように行うのか。

A この条例改正により、入居希望者に関して警察への問い合わせが可能となる。

Q 昨年十二月に市会案「公の施設の指定管理者の指定に関する決議」が可決されたことを受け、今後、指定管理者制度にどのように反映するのか。

A 施設の統廃合を行うために施設に係る条例を改廃した場合は、契約期間中であっても、条例改廃による契約の変更・廃止を可能とすることを指定管理者との協定書に盛り込む。

Q 廃止が決定されている雇用促進住宅「サンコーポラス」について、市の譲渡希望の返事はどうするの

か。

A 現管理者の雇用能力開発機構からは評価額の二分の一で買い取ってほしいとの条件提示があった。市営住宅としても費用対効果が期待できることから譲渡を受ける方向である。今後、国における諸調整を待って、交渉を行っていく予定である。

民生環境常任委員会

Q 「お出かけほっとサロン事業」の助成の対象者や対象施設は。

A 老人クラブとして、市内のあつ宝んど、うらら館、フレアール和泉、九頭竜パークホテルなどを利用する場合に助成される。老人クラブへの加入促進も目的としているためである。

Q 介護保険料が六段階から八段階になって、保険料の軽減対象となる人はいるのか。

A 段階を増やすことによって、約二千五百人が軽減の対象になる。

総務文教常任委員会

Q 「越前おおの暮らし応援事業」の定住体験ツアーの具体的な内容は。

A 都市圏の方を対象として、九月から十一月の間に二泊三日の日

程で、六組で最大二十人を考えている。宿泊はフレアール和泉のコテージを予定しており、初日はまちなか散策、移住者との意見交換。二日目は農作業、自然体験等、三日目に空き家見学等を予定している。

Q 市街地における防火水槽の整備状況は。

A 市街地の防火水槽として、耐震型四十ト級の道路用・空地用を整備しており、近年は公園や学校等の公共施設に設置している。消防水利には防火水槽・消火栓があり、振興計画の中で百二十トの円を描いて、空地があれば防火水槽を設置している。

議会人事

市議会副議長に 川端義秀議員



松原啓治副議長が辞職。二日に選挙が行われた結果、新しい副議長に、川端義秀議員が当選されました。

常任委員会・議会運営委員会の改選

任期満了に伴う各常任委員会・議会運営委員会委員の改選が行われ、新しい委員会の構成が次のように決まりました。

常任委員会・議会運営委員会の構成

(◎は委員長、○は副委員長)

議会運営委員会	常任委員会		
	民生環境	産経建設	総務文教
◎本田 章 ○宮澤 秀樹 前田 政美 沢田 国夫 島口 敏榮 高岡 和行	◎松田 信子 ○石塚 淳子 藤堂 勝義 川端 義秀 浦井 智治 畑中 章男	◎高岡 和行 ○前田 政美 谷口 治衛 沢田 国夫 山本 鐵夫 本田 章	◎常見 悦郎 ○宮澤 秀樹 松原 啓治 島口 敏榮 松井 治男 砂子 三郎 榮 正夫

特別委員会委員の補充

委員の辞任に伴い、山本鐵夫議員が中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会委員に、谷口治衛議員、沢田国夫議員が議会等改革特別委員会委員に選ばれました。

広域事務組合議員の補欠選挙

議員の辞職に伴い、十一日に選挙が行われた結果、島口敏榮議員、本章議員、常見悦郎議員が大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員に当選されました。

委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長からの報告は次のとおりです。

●産経建設常任委員会

○市営住宅の家賃滞納について
滞納者および保証人への納付催促を頻繁に実施するなど、収納率向上に努められた。また市税に限らず、市営住宅の家賃などの滞納に対処するため、専門員による一括した対策を検討されたい。

○結スレーション整備事業について
さまざまなソフト事業なども活用しながら、結スレーション整備事業を成功させ、まちなかの賑わい創出が達成されるよう鋭意努力されたい。

●民生環境常任委員会

○保育料の滞納について
今後さらさら積極的に徴収を行い、滞納額の減少に努められたい。

○一人親家庭について
一人親家庭などについて現況調査を行い、その実態を把握し、今、実施されている施策が適当であるか、また新たに必要となる施策がないか、模索していくことが必要ではないか。

●総務文教常任委員会

○大野市教育理念について
関係者全員の共通理解のもと、小学校低学年やお年寄りにも分かりやすく啓蒙されるよう慎重に対応されたい。

○公共用地等の借地料について
今後の契約更新に当たっては、借地の必要性や地域間の格差等を十分考慮し、適正な借地料となるよう留意することはもちろんのこと、不要な土地は地主に返還することも視野に入れて検討願いたい。

●中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

中部縦貫自動車道は、市長を先頭に大野市全体が一つとなって積み重ねた長年の地道な努力が実り、三月十三日に国土交通大臣から大野東・和泉間の十四キロの二十年度事業費としての子算配分があり、本格的な調査

が進められることになった。残る十八キロの区間の事業化と所期の目的達成のため積極的に支援をしていくことで委員の意見が一致している。

●議会等改革特別委員会

本定例会においては、議会運営委員会委員の選任方法の見直し、議員に対する反問権の付与、それに本年度の委員会審議の総括としての報告書作成などを審議した。

議員に対する反問権の付与については、その運用実績等を見ながら会議規則の改正を行うことで、正式に制度化することとなった。

今後は、議会の監視機能やチェック機能の強化に関する方策などの論議を進めるとともに、行政改革に關しては、第六次行政改革に向けた議会としての意見を集約したい。



議 会 日 誌

- ◆2月
 - 4日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京）
 - 10日 全国過疎地域自立促進連盟理事会（東京）
 - 中部縦貫自動車道早期整備促進要望活動（東京）
 - 16日～17日 議会等改革特別委員会行政視察（滋賀県彦根市、兵庫県明石市）
 - 17日 広域行政圏市議会協議会総会（東京）
 - 20日 県市議会議長会定期総会（大野有終会館）
 - 23日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
 - 24日 議員全員協議会
 - 25日 全国市議会議長会国会対策委員会（東京）
- ◆3月
 - 2日～23日 第360回定例市議会
 - 10日 中部縦貫自動車道早期整備促進要望活動（福井市）
 - 11日～12日 同上（東京・大阪）
 - 24日～26日 大野・勝山地区区域行政事務組合議会（勝山市）
 - 27日 要望活動（県庁）
 - 県後期高齢者医療広域連合議会（福井市）
- ◆4月
 - 1日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
 - 8日 第361回臨時市議会
 - 13日 栃木県鹿沼市行政視察来訪
 - 17日 議会運営委員会
 - 22日 北信越市議会議長会定期総会（福井市）

編集後記

より多くの議会情報を掲載することを目的に、このたび議員による議会だより編集委員会（任期一年）が設置され、年四回の議会だより編集を担当することになりました。議員からの代表・一般質問と理事者の答弁は、質問した議員自身が執筆しています。

市民の皆さまと議会をつなぐ懸け橋としてこの議会だよりがお役に立てばうれしく思います。ご感想、ご意見をお寄せくださいれば幸いです。

市議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。
(0779-66-1111 内線253)

議会だより編集委員会

委員

- 松田信子
- 石塚淳子
- 宮澤秀樹
- 浦井智治

